

令和7年度 第4回 学校運営協議会

浜松市立中瀬小学校

1 日時 令和8年2月12日(木) 13:00~15:00

2 会場 浜松市立中瀬小学校 会議室

3 内容

13:25~14:10 校内・授業参観

進行(佐々木)

(1) 会長挨拶

(2) 校長挨拶

(3) 議長の選出

(4) 前回会議録確認

(CSディレクター)

(5) 熟議

進行(議長)

①学校評価の結果から来年度の方向性について

(佐々木)

- ・R8教育課程
- ・いじめ防止の取り組み

②学校運営協議会の1年間の取組について【自己評価】

(各委員)

③次年度の学校経営方針・教育活動について

(校長)

(6) 連絡

・夢育やらまいか事業について

(教頭)

・令和8年度 学校運営協議会年間予定

第1回学校運営協議会 令和8年 5月 8日(金) 予定

第2回学校運営協議会 令和8年 9月25日(金) 予定※クラブ活動

第3回学校運営協議会 令和8年12月 4日(金) 予定※学習発表会

第4回学校運営協議会 令和9年 2月12日(金) 予定

令和7年度

第4回学校運営協議会

令和8年2月12日(木)

浜松市立中瀬小学校

中
瀬

<キャリア教育で付けたい力>



なかよく <自分も友達も大切にする力>



かしこく <課題を見つけて解決する力>



ぜんりよく <夢に向かって努力する力>



学校教育目標「自ら学び 共に高め合う子」

～笑顔かがやく 楽しい学校～

第4回 学校運営協議会出席者名簿

学校運営協議会委員

委員	山本 忠雄
委員	村上 雅代
委員	舟橋 弘子
委員	鈴木 英之
委員	平山 裕
委員	河合 貴幸
委員	森本 宣子
委員 CSコーディネーター	田中 弥生
委員	平賀 伊織

オブザーバー

中瀬協働センター	細川 恭由
----------	-------

学 校

校 長	島田 一孝
教 頭	櫻井 伸夫
CS担当教職員	佐々木 麻美
CSディレクター	富永 幸代

浜松市教育委員会

教育総務課	清水 悠
-------	------

中瀬小学校 令和8年度の主な行事予定 (2/5時点)

<1学期>

始業式	4月 8日 (水)	
入学式	9日 (木)	
4月参観会・PTA総会	25日 (土)	
引き渡し訓練	25日 (土)	
1年生を迎える会	5月 1日 (金)	※学年交流日・持参弁当
教育相談(全家庭)	5月 8日 (金)	～15日 (金)
5年生林間学校	6月 2日 (火)	～ 3日 (水)
6月参観会・懇談会	24日 (水)	
終業式	7月22日 (水)	

<2学期>

始業式	9月 1日 (火)	
前期通信表配布	10月 1日 (木)	
教育相談(全家庭)	2日 (金)	～9日 (金)
なかぜっ子運動会	24日 (土)	26日(月)休業日 ※予備日①25日(日) ②26日(月)
6年生修学旅行	11月12日 (木)	～13日 (金)
学習発表会	12月 4日 (金)	
教育相談(希望制)	12月14日 (月)	～18日 (金)
終業式	22日 (火)	

<3学期>

始業式	1月 6日 (水)	
2月参観会	2月12日 (金)	※懇談会なし
修了式	3月18日 (木)	※5年生準備AM
卒業式	3月19日 (金)	※5年生参加

<R7からの主な変更点>

※10/24(土)運動会…雨天の場合は25日(日)、26日(月)に順延します。

24、25日に実施できた場合、26日は休業日となります。

※2/12(金)は参観会のみとし、懇談会は行いません。

※ 行事予定につきましては、今後変更の可能性があります。御了承ください。

(様式1)

学校番号 (小・中 072)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(中瀬小)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・保護者や地域の人材・地域の特色を生かしたボランティア活動について熟議する。
- ・防災という観点からも、学校と地域と保護者のつながりについて考え、子供たちの防災に対する知識を高められるような支援活動について熟議する。
- ・本年度の取組を継続しつつ、学校が必要としている支援をより具体的にし、より多くの保護者や地域の力で学校を支える体制づくりを進めていきたい。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

学校教育目標に対して、目指す子供像『なかよく・かしこく・ぜんりよく』に向かう中瀬小の子供たちを育成するための理念を共感共有し、具現化に向けての実践をした。これまでの学校運営や支援活動の振り返りを基に、率直な意見を出し合うことができた。ICTの活用や教科担任制について、昨年度よりも充実していることが確認できた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

支援活動を行ったうえでの改善点や来年度へ向けての意見交換ができた。クラブや体験活動での学校支援ボランティアの実態がよく分かる資料が提示され、教育活動の充実が伝わってきた。学校評価アンケート結果を基に意見交換したことは、児童や保護者の『今』の思いの受け止めにつながり、教育現場の課題が分かりやすく、学校・家庭・地域の役割の具現化につながると感じた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

学校HPやCSだよりを通じ、継続的に協議結果や活動の様子を情報発信することにより、定期的に保護者や地域に学校の様子を伝えることができた。保護者の受け止めは手ごたえがあると思うが、地域における受け止めはよく分からない。効果的な情報発信について継続的に熟議することにより、「地域とともにある学校」の具現を目指せるとよい。

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・なかぜっ子サポーターの体制整備を行い、学校と地域をつなぐ力をより強化していけるよう、保護者や地域の人材・特色を生かしたボランティア活動について熟議する。
- ・「主体性の育成」と「学校における働き方改革」という視点から学校支援活動について熟議していく。